

令和5年度版

連携型中高一貫教育に係るアンケート調査の結果と考察

(分野別)

中高連携教育編

回答者数

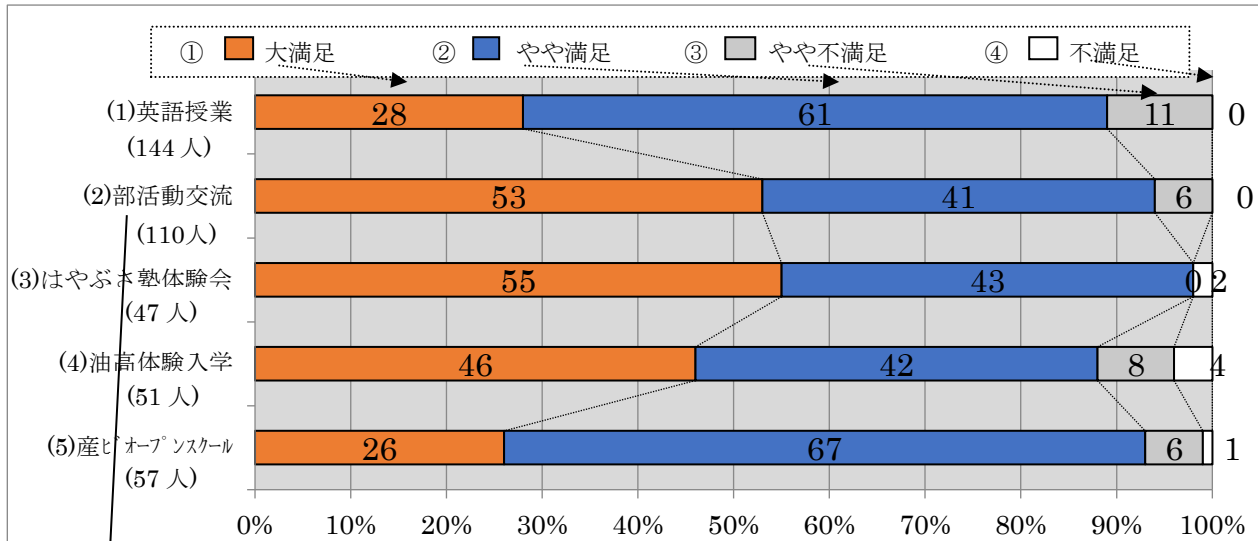
- | | |
|-----------|------------------------------|
| 1. 中学生 | 回答者数 <u>153人</u> / 在籍者数 160人 |
| 2. 高校生 | 回答者数 <u>154人</u> / 在籍者数 158人 |
| 3. 中・高教職員 | 回答者数 <u>48人</u> / 全教職員数 56人 |
| 4. 小学校保護者 | 回答者数 <u>140人</u> / 対象児童 156人 |
| 5. 中学校保護者 | 回答者数 <u>148人</u> / 生徒総数 160人 |
| 6. 地域 | 回答者数 <u>61人</u> / 質問者数 103人 |

神石高原町教育委員会

<連携教育についてどう思いますか？>

● 中学生

問 本年度、油木高校の先生や生徒さんから指導してもらったり、行事に参加したことがある人は、下の該当する項目について、その感想を教えてください。



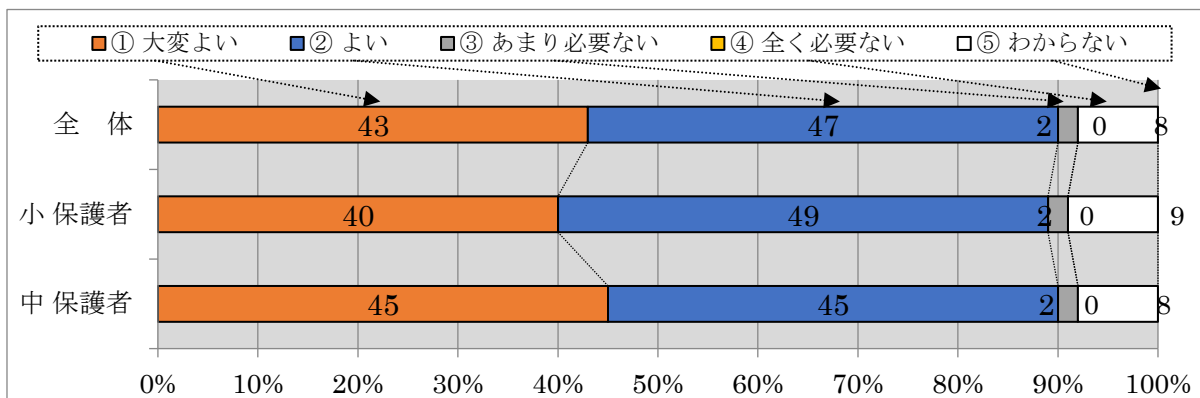
<部活動部員数>

卓球（三中：13人+神中：11人）、バレー（19+13）、ソフトテニス（10+13）、野球（12+11）、陸上（15+0）、吹奏楽部（10+10）、美術部（0+10）、剣道（13+0）

考察 全ての項目において生徒の受け止めは肯定的評価「大満足・やや満足」が88%以上を占め、大変高い評価である。その中で、交流授業で実施している英語の「大満足」度は2番目に低く、中高教職員のアンケート調査においても教育効果はあまり感じておられないようである。（「大変効果がある」中学：26%、高校：19%）この交流授業は連携型中高一貫教育校では欠かせない実践項目だけに、今後、町研教科部会等で授業交流・授業研究などしながら有効策を追究していく必要があると思われる。

● 小・中保護者

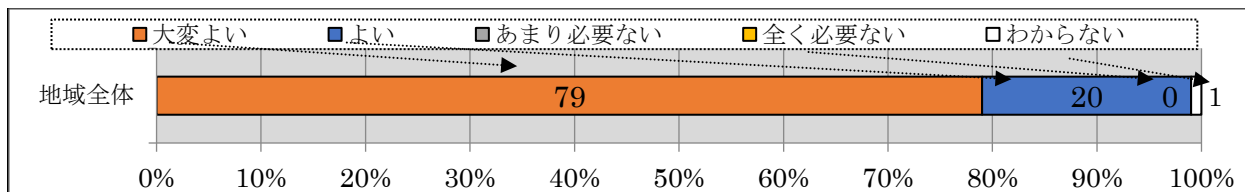
問 油木高校と町内中学校との連携教育（例：中高交流授業、部活動交流、学校行事への相互参加、教職員の交流など）が実施されていますが、そのことについてどう思いますか。



考察 全体としては「大変よい・よい」とする肯定的回答90%（昨年92%）と非常に高い評価である。一方、「わからない」とする数値が8%（昨年6%）と前年より少し高くなっている。しかし、今後も関係保護者への情報提供は、広報紙『中高一貫教育ジャーナル 高原の風』で連携教育の取組みを紹介したり、ケーブルテレビの活用（次世代議会など）を図って、一層の情報提供に努めていかなければならない。

● 地域

問 現在、油木高校と町内中学校との連携教育（例：中高交流授業、部活動交流、学校行事への相互参加、教職員の交流など）が実施されていますが、そのことについてどう思いますか。



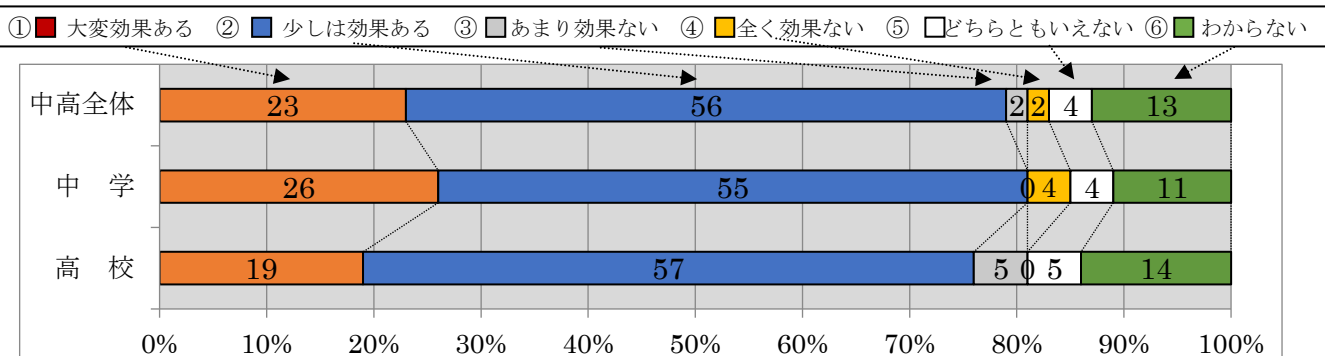
考察 地域のほとんどの方々（99%）は、中高連携教育を「大変よい・よい」とする肯定的回答で、「必要ない」との否定的回答は0%であったが、今後更なる中身の充実を図り、情報提供していく必要がある。

● 教職員

問 中高連携の中で、交流授業、部活動交、学校行事への参加、教職員の交流などが実施されていますが、連携教育の効果についてどう思われていますか。

(1) 定例的な交流授業

（高→中：英語、中→高：音楽・英語）について、どう思われていますか。

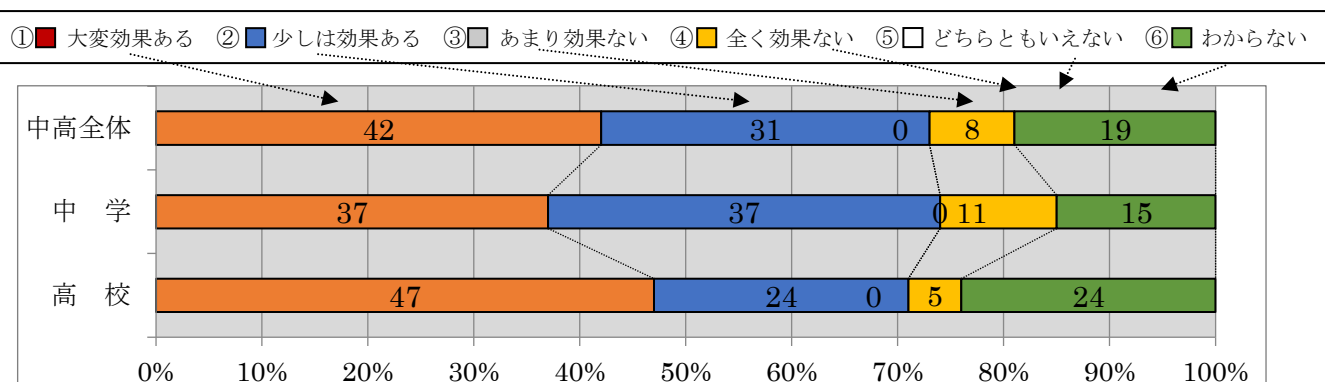


< 推進上の課題 >

（中） ・授業前後に意見交流の時間設定をし、目指すところを確認しながら進められるとよい ・平日に学校に穴が開くことが多く、先生方の負担が増えている ・常勤の職員が少ない中で校内にいない日（時間）が多いため、校内の業務に制約が多い ・何の意味があるのか分からない ・日程調整

（高） ・他教科への拡大（年に1・2回程度でもよいので） ・他教科には取組内容が分からない ・単なるサポート役としてではなく中高の教員それぞれが主になった授業展開ができてよいと考える ・英語については連携分講師に依存するのであれば本末転倒のように感じる

(2) 部活動交流について、どう思われていますか。

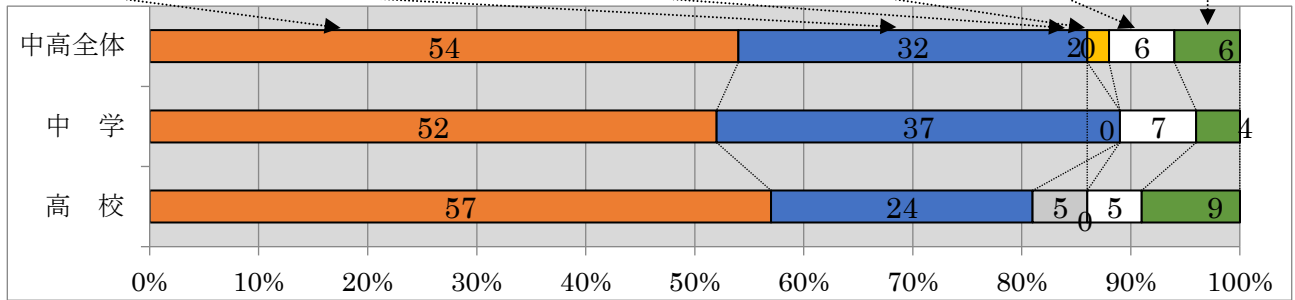


<推進上の課題>

(中) ・テニスコートの使用のあり方 ・日程調整
 (高) ・神高中とは年1回交流があるが三和中とはない(卓球部) ・サッカー部は交流がない
 ・交通(バス)により気軽に交流が行えない

(3) 学校行事(オープンスクール・学習成果発表会など)への参加について、どう思われていますか。

①■ 大変効果ある ②■ 少しは効果ある ③■ あまり効果ない ④■ 全く効果ない ⑤□ どちらともいえない ⑥■ わからない

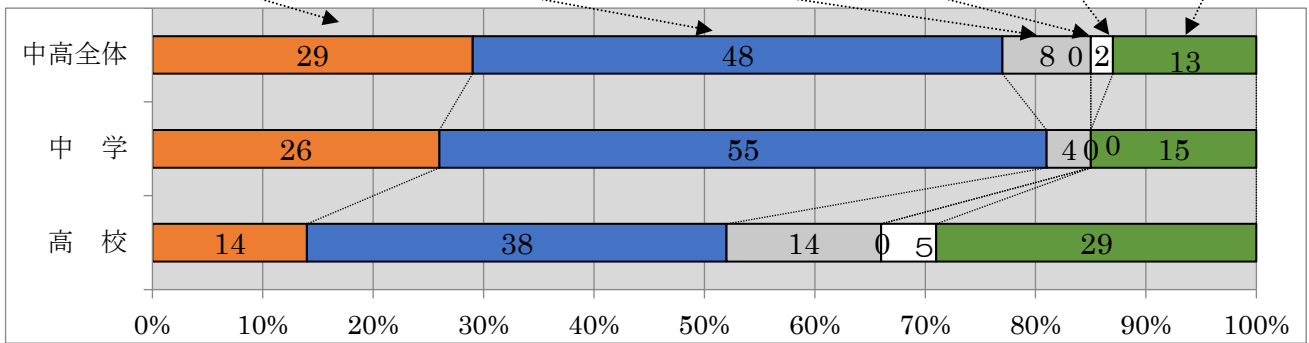


<推進上の課題>

(中) ・中2の産ビ体験については見直し ・日程調整
 (高) ・高校の取組みを知ってもらう上で効果的である

(4) 教職員の交流(教科部会・教科外部会など)について、どう思われていますか。

①■ 大変効果ある ②■ 少しは効果ある ③■ あまり効果ない ④■ 全く効果ない ⑤□ どちらともいえない ⑥■ わからない



<推進上の課題>

(中) ・中学校の交流も必要 ・小中連携をもっと強化すべきではないか考える ・日程調整
 (高) ・

考察 ・中高全体では、多くの項目が「①大変効果がある、②少しは効果がある」とする肯定的回答が70%以上あるが、多くの質問で肯定的評価は減少傾向にある。(交流授業 79→77%、部活動交流 80→73%、学校行事 98→86%、教職員交流 87→77%)。その原因はどこにあるのか、またその解決策について町研教科部会等で検討していく必要がある。

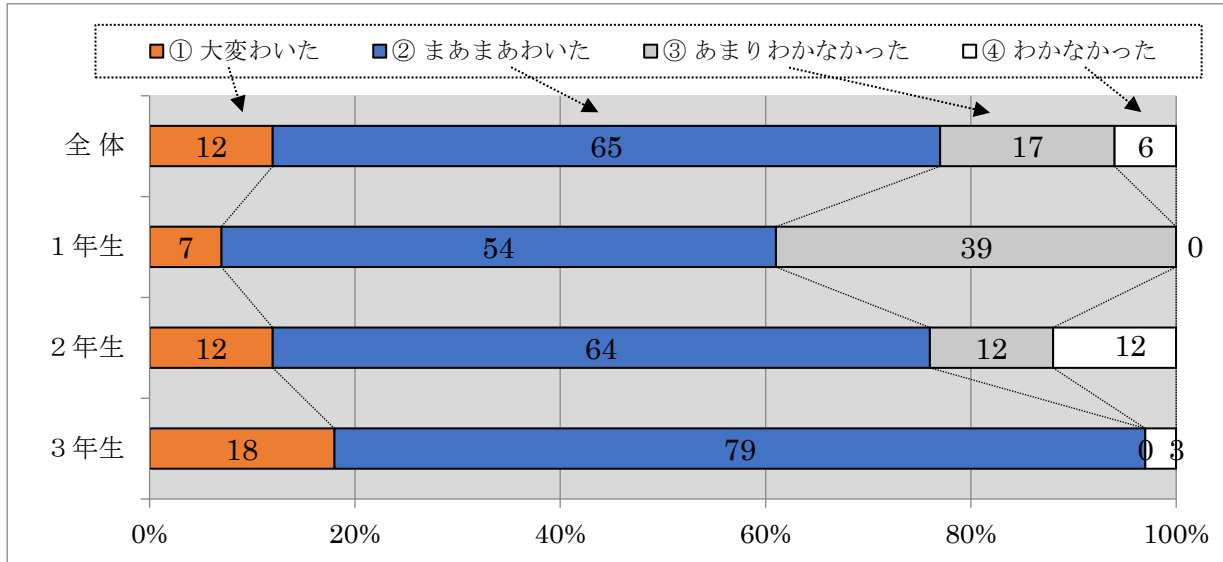
・本年度も各質問項目に関わる「推進上の課題」について、いろいろとご意見をいただいている。いずれも教育内容に関わるものであり、中高一貫教育推進委員会を中心として、校長会や事務局会等で検討し、今後の方向性を検討する上で参考としたい。また、教科に関わっては町研教科部会などでも話し合う必要がある。

＜油木高校生の「総合的な探究の時間」の取組状況について＞

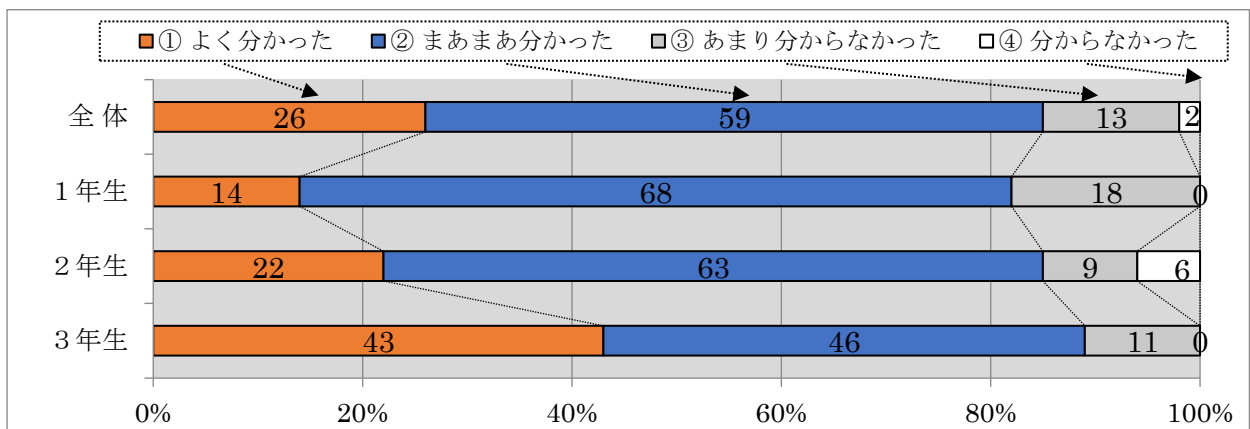
● 高校生

問 本年度の「総合的な探究の時間」について質問します。（*普通科の1～3年生のみ教えてください。）

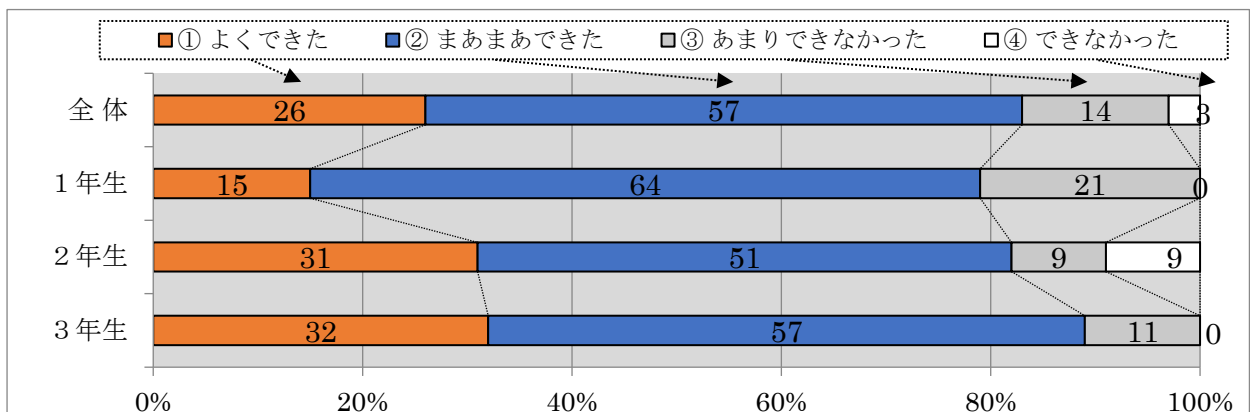
(1) 学習内容について興味や学習意欲がわきましたか。（興味・関心・意欲）



(2) 授業内容は分かりましたか。（理解度）



(3) 授業では積極的に学習活動ができましたか。（態度・活動面）



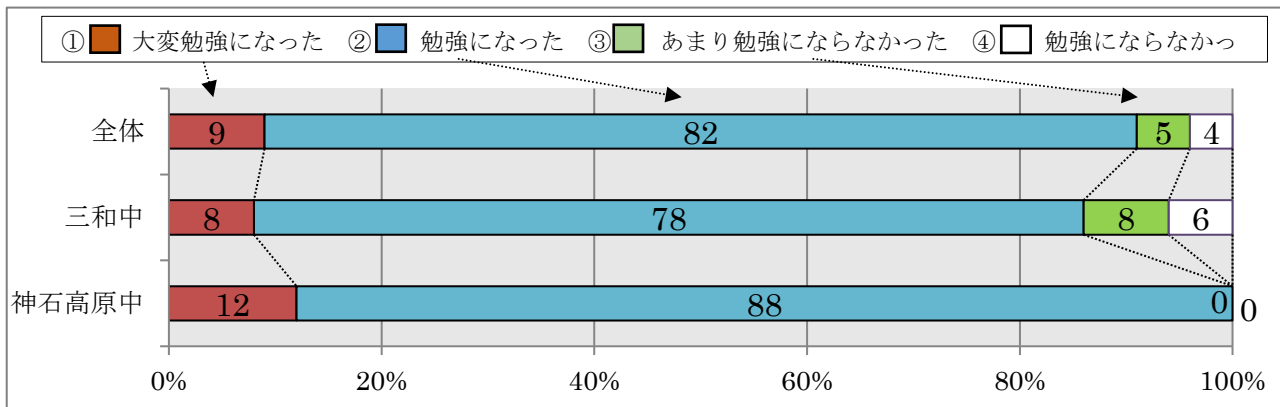
考察 ・どの項目も 70%以上の高い肯定的自己評価をしている。そして、3 年生がどの項目も「よくできた」と回答した生徒が一番多かった。

・このように生徒自身が高い評価をしているのは、各学年の総合担当の先生やキャリア教育コーディネーター(元地域興し協力隊員)のこれまでの経験値からの指導や(株)プリマペンギノの適切なアドバイスのお陰であると感じている。

<油木高校の学習成果発表会についてどう思いましたか？>

● **中学生**

問 本年度 12 月 20 日に油木高校が実施された「総合的な探究の時間」等の学習成果発表会に参加した生徒で高校生の発表を聞いてどのように感じましたか。



考察 ・ほとんどの生徒が「大変勉強になった・勉強になった」との肯定的評価をしているが、ただ、「大変勉強になった」と回答したのは9%（昨年26%）であり、大きく減少した。

・参加した中学生にとっては、今後の学習に役立つものと思われる。また、油木高校の普通科、産業ビジネス科の学習内容について、少しは理解が進んだのではないかとと思われる。

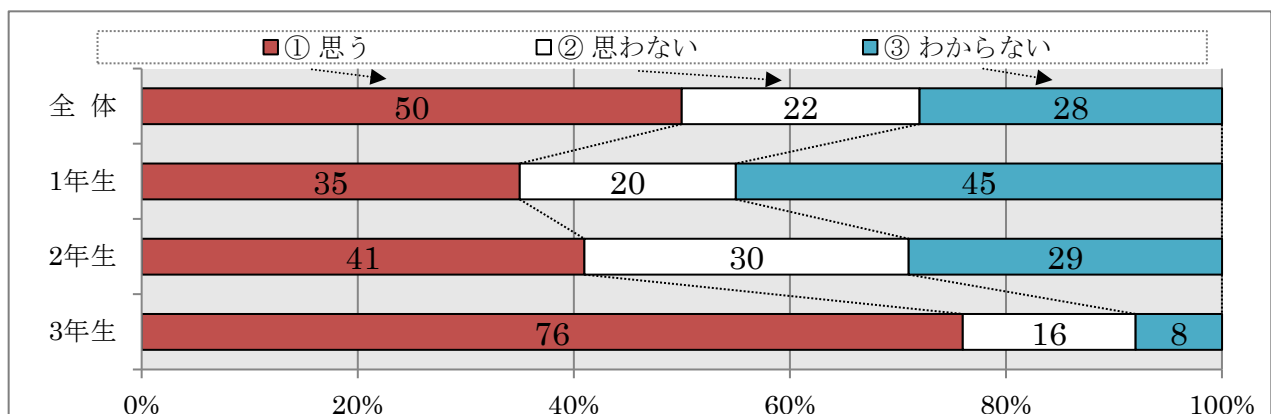
・「総合的な学習（探究）の時間」は中高連携教育の軸であり、小学校を含めた小・中・高が共に研究しながら、今後一層中身の充実を図っていく必要があるため、町研総合部会では、昨年度から小・中・高の12年間を視野に入れたカリキュラム作りについて(株)プリマペンギノに指導いただきながら研修を継続している。

<中高一貫教育&油木高校魅力アップ事業に係る総合的な成果指標について>

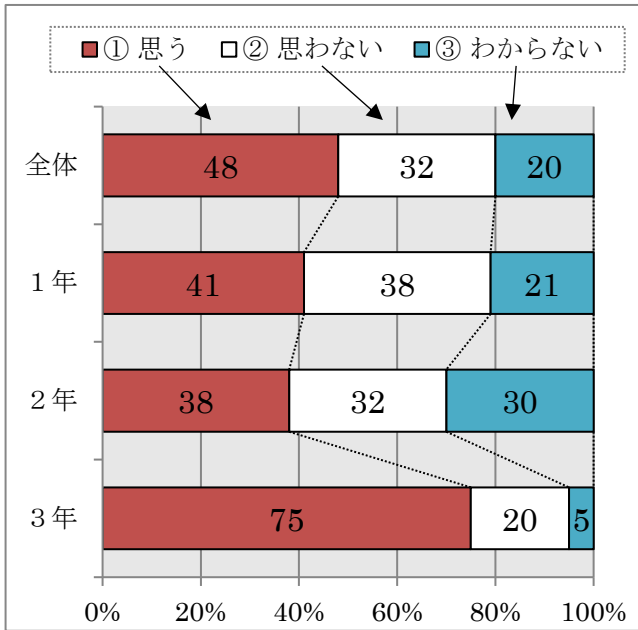
● **中学生**

問 (1) あなたは油木高校に進学したいと思いますか。

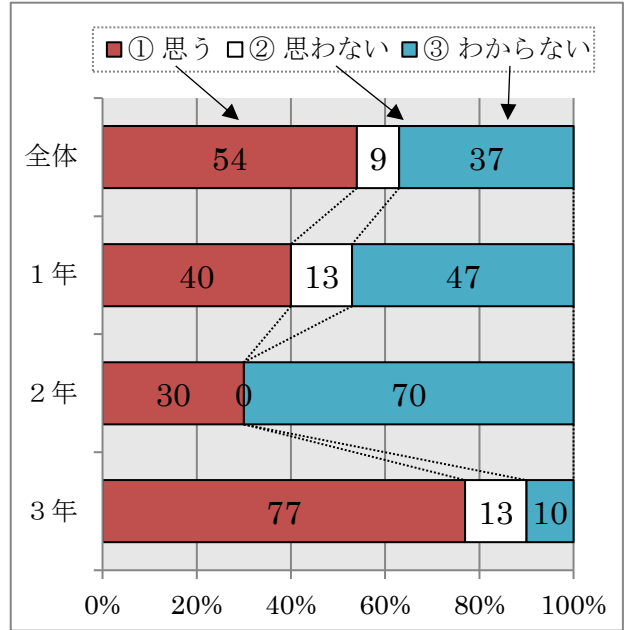
< 2校全体では >



< 三 和 中 >



< 神 石 高 原 中 >



考察 ・2校全体では、油木高校へ進学したいと「思う」は50%（前年53%、前々年55%）で、昨年に引き続き50%以上であるが減少傾向にある。今後中学生徒数が減少していくだけに50%以上を確保していく必要がある。

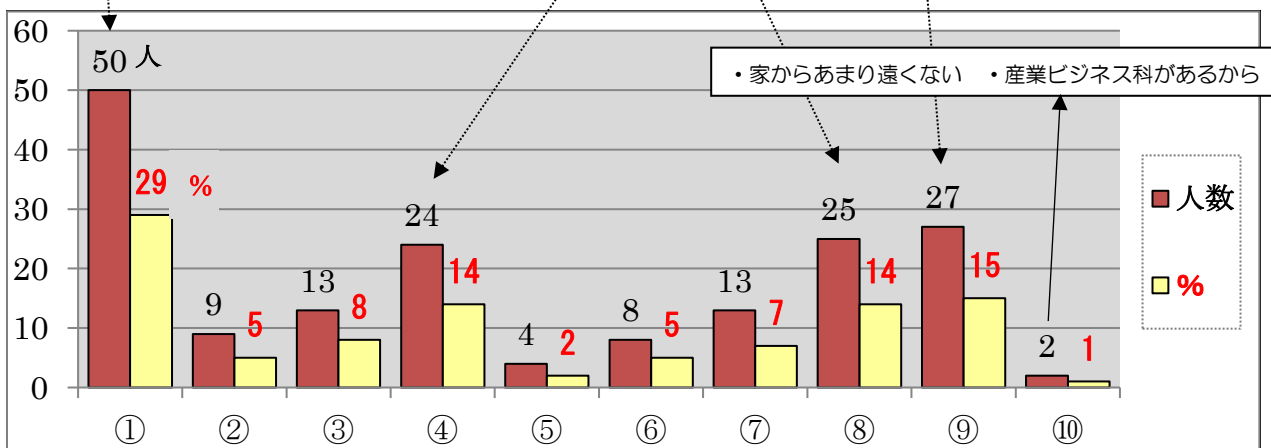
・全体の学年別でも、3年生の「思う」が76%で一番高く（R4年62%、R3年66%、R2年61%、R1年61%）、一つの目標数値である60%以上クリアが続いている。また、経年比較では（昨年度の2年生53%→本年度の3年生76%）というように年々増加傾向になっている。これは、学校現場の取組みと地域あげでの取組みの成果なり効果が伺われる。

・学校別においても、両校とも「油木高校に進学したいと思う」率は3年生が一番高く70%以上を占めている。このことは連携型中高一貫教育校を維持していくためには大変重要なことで、今後もこの数値（50%以上）にこだわり推進していく必要がある。

(2) 3(1)の質問で「①（油木高校へ進学したいと）思う」と答えた人で、その理由と思うものを下の□の中から選んでください。（複数回答可）

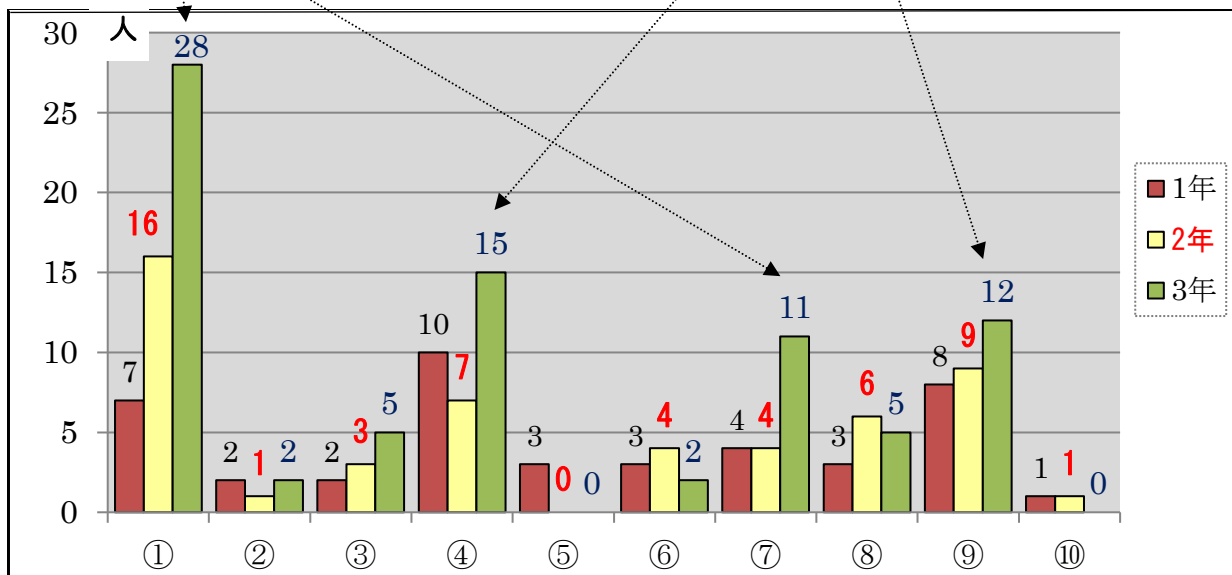
- ① 通学に便利 ② 進路実績 ③ 教育内容面 ④ クラブ活動面 ⑤ 寮がある ⑥ 施設設備がよい
 ⑦ 町の支援（公営塾、海外研修等）がある ⑧ 親・家族の等の薦め ⑨ 友人関係 ⑩ その他

< 2校全体では >



<学年別の人数では>

- ① 通学に便利 ② 進路実績 ③ 教育内容面 ④ クラブ活動面 ⑤ 寮がある ⑥ 施設設備がよい
 ⑦ 町の支援（公営塾、海外研修等）がある ⑧ 親・家族の薦め ⑨ 友人関係 ⑩ その他



考察 ・2校全体で多い順は、1位：① 通学に便利（29%）、2位：⑨友人関係（15%）、3位：⑧親・家族等の薦め（14%）、④クラブ活動（14%）であった。

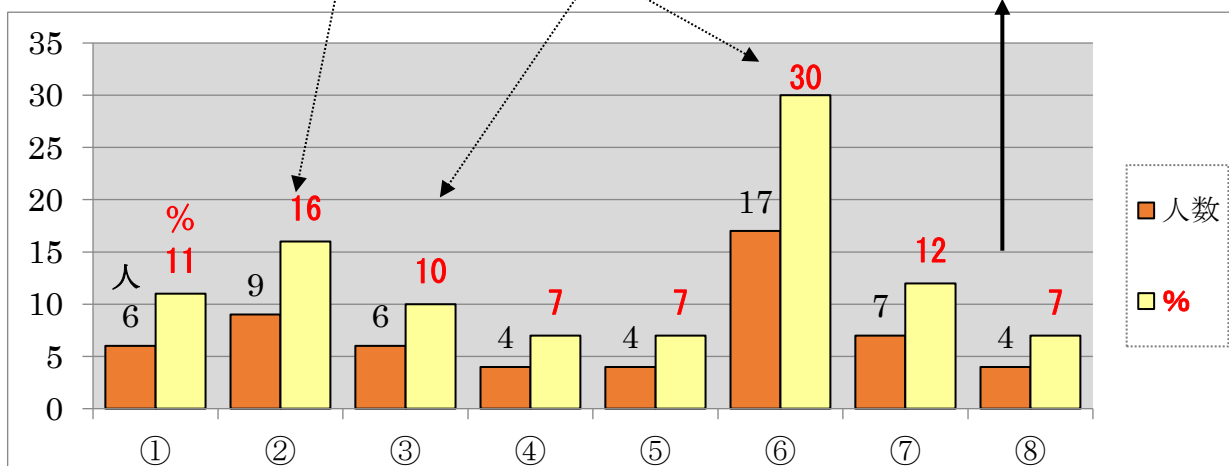
・学年別では、①通学に便利、を除けば④クラブ活動、⑨友人関係、⑦町の支援について3年生が油木高校の良さを多く感じている様である。これは3年生が体験入学や学校説明会などを通して、多方面にわたって情報を得ることによって油木高校の良さを感じているものと思われる。

(3) 3(1)の質問で「②（油木高校へ進学したいと）思わない」と答えた人で、その理由と思うものを下の□の中から選んでください。（複数回答可）

- ① 通学が不便 ② 教育内容面 ③ クラブ活動面 ④ 施設設備面
 ⑤ 希望の学科がない ⑥ 高卒後の進路面 ⑦ 友人関係 ⑧ その他

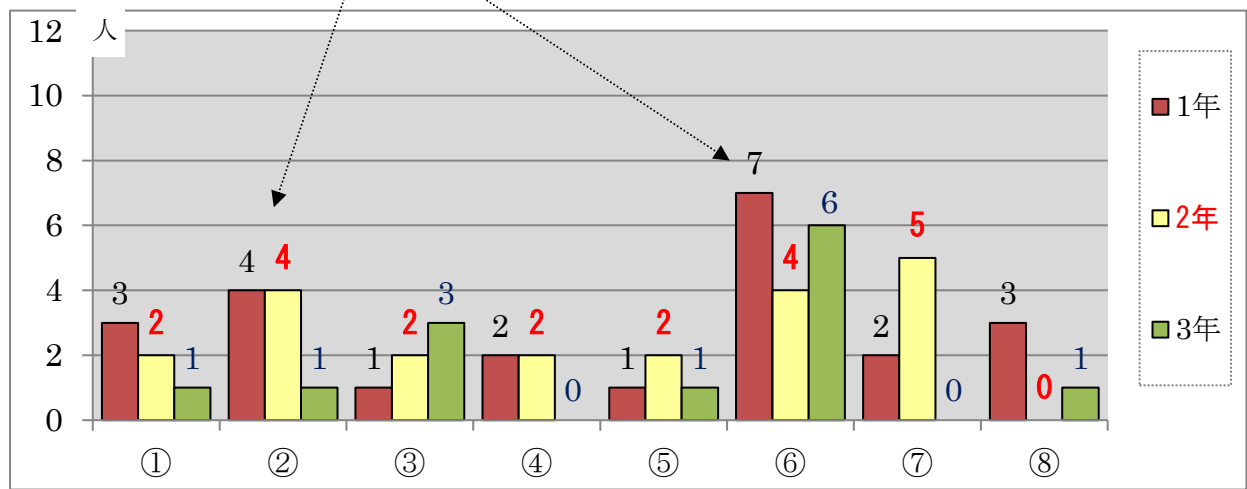
<2校全体では>

・他に行きたい高校がある ・周りに何も無い ・まだ決めていない



<学年別の人数では>

- | | | | |
|------------|-----------|----------|---------|
| ① 通学が不便 | ② 教育内容面 | ③ クラブ活動面 | ④ 施設設備面 |
| ⑤ 希望の学科がない | ⑥ 高卒後の進路面 | ⑦ 友人関係 | ⑧ その他 |



考察 ・2校全体で多いのは、1位：⑥「高卒後の進路面」(30%)、2位：②「教育内容面」(16%)、3位：⑦「友人関係」(12%)となっており、例年とあまり差異はない。

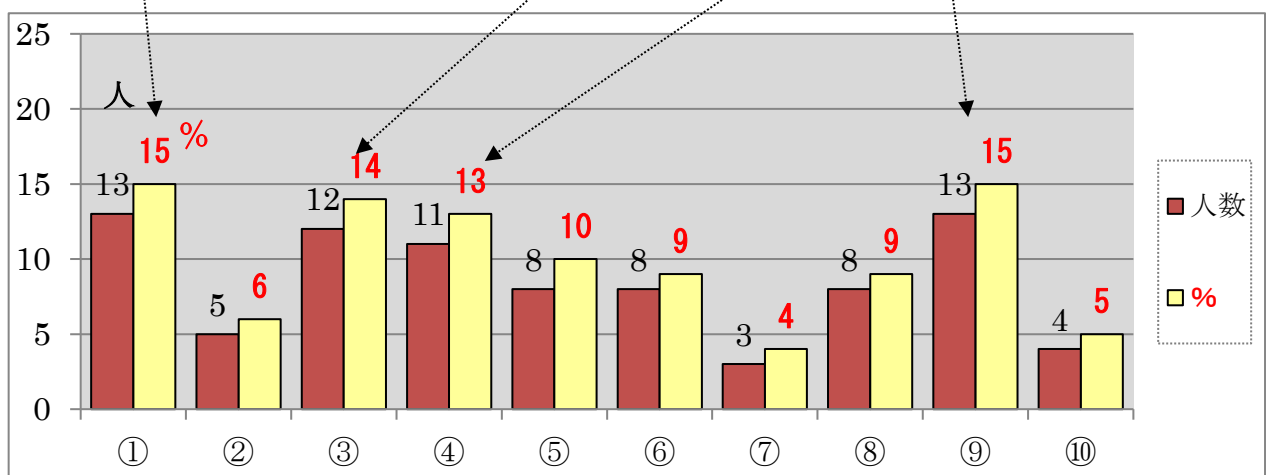
・例年のごとく本年度も「(油木高校へ進学したいと) 思わない」理由の中で、⑥「高卒後の進路面」が一番多い。それだけに町内中学校での進路説明会時等に「油木高校卒業後の進路面」について、もっと丁寧に詳細な説明を行っていく必要があると思われる。また、「油木高校の進路指導や進路実績」を学校ホームページ等でしっかりと紹介していくことも必要である。

● 各中学校において、油木高校生（特に出身中学生）が頑張っている姿を、機会あるごとに後輩中学生に語っていただいたり、直接高校生が中学生に話していく機会（例：高校進路説明会、油高生による進路学習会など）を増やすことができれば、大変効果があると思われる。（高校は中学校へ随時情報提供を行っていく。）

(4) 3(1)の質問で「③ わからない」と答えた人で、後自分が進路選択する（高校を選ぶ）上で、重要視したいことはどんなことですか。下記の①～⑩の中から重要視したいものを2つ選び、番号で教えてください。

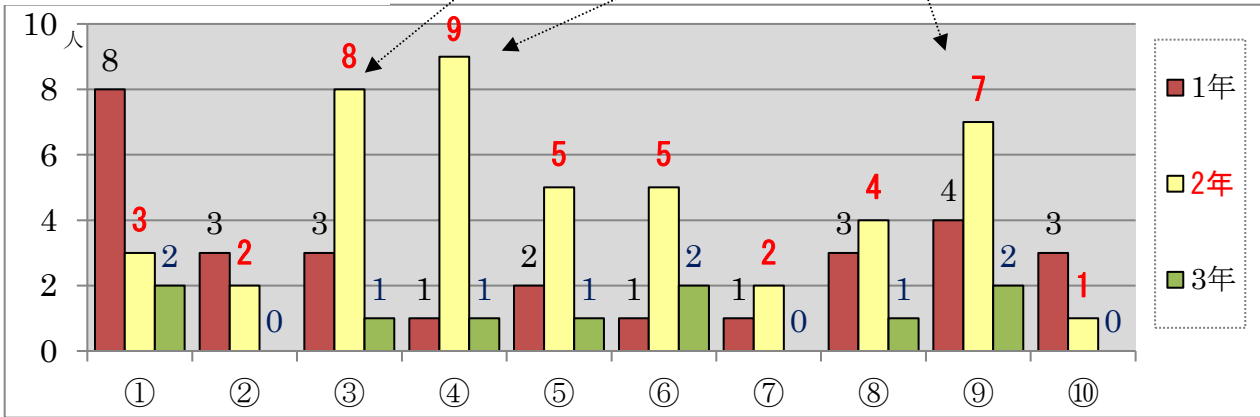
- | | | | | |
|----------|----------------|------------|---------|---------|
| ① 通学便 | ② 伝統や校風 | ③ 進路実績 | ④ 教育内容面 | ⑤ 施設設備面 |
| ⑥ クラブ活動面 | ⑦ 市町からの色々な支援制度 | ⑧ 親や家族のすすめ | ⑨ 友人関係 | ⑩ その他 |

<2校全体では>



- ① 通学便 ② 伝統や校風 ③ 進路実績 ④ 教育内容面 ⑤ 施設設備面
 ⑥ クラブ活動面 ⑦ 市町からの色々な支援制度 ⑧ 親や家族のすすめ ⑨ 友人関係 ⑩ その他

<各学年別の人数では>

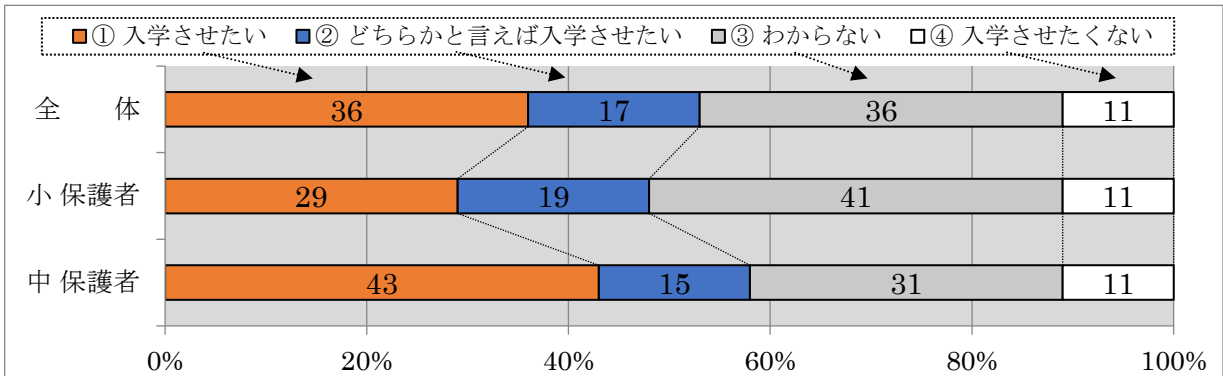


考察 ・2校全体で多い順は、1位：①「通学便」、⑨「友人関係」(15%)、2位：③「進路実績」(14%)、3位：④「教育内容面」(13%)となっており、③、④が増加したように見えるが、⑥「クラブ活動」(9%、昨年20%)が大きく減少した結果であり、あまり大差はない。

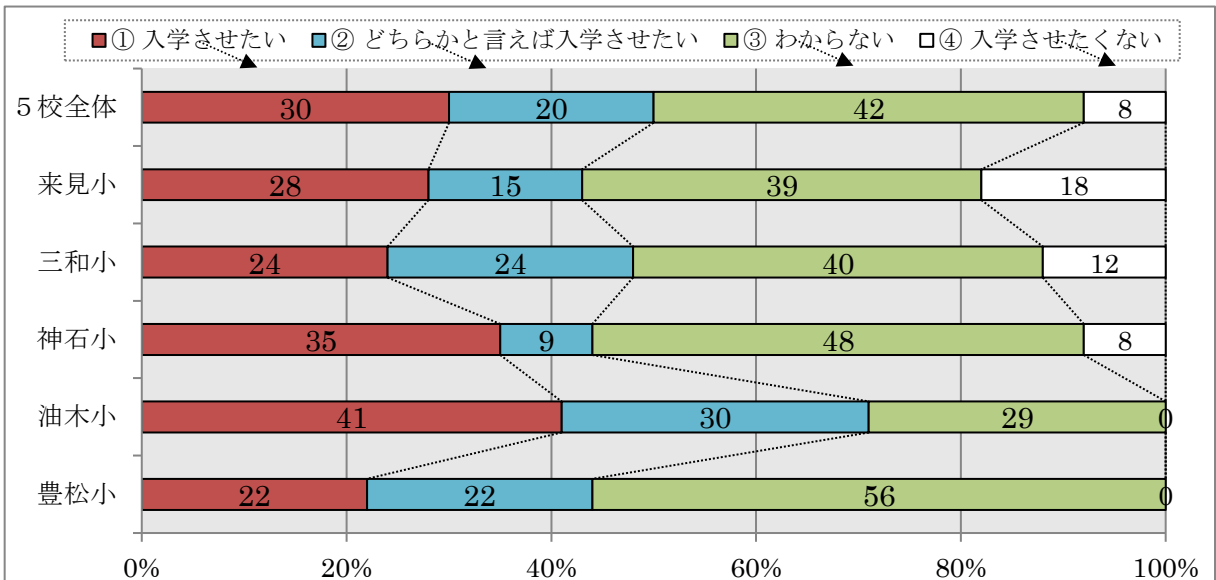
・各学年別に見たときの特徴としては、1年生は①「通学便」に、2年生は④「教育内容面」、③「進路実績」、⑨「友人関係」に関心が高く、3年生は①「通学便」や⑨「友人関係」を上げている。

● 小・中保護者

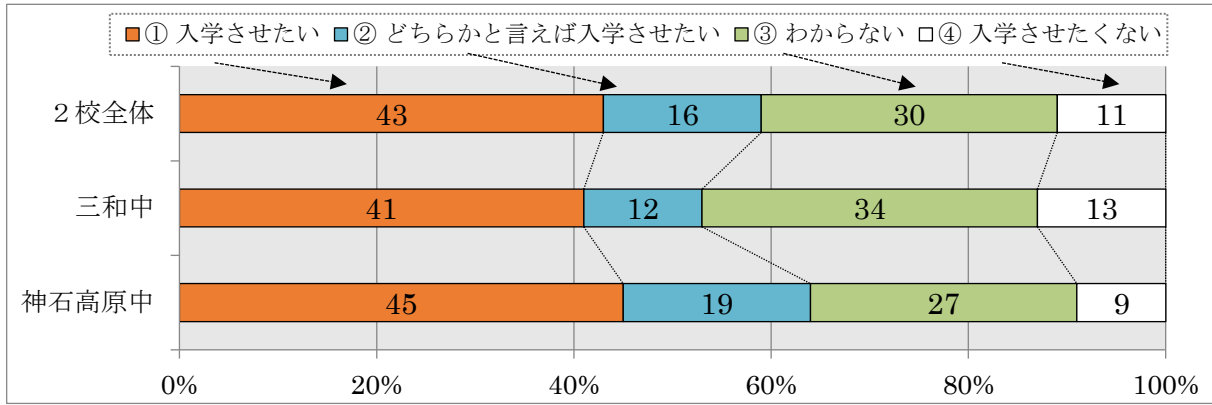
問 (1) あなたの子どもさんを油木高校に進学させたいと思いますか。



<各小学校別では>



<各中学校別では>

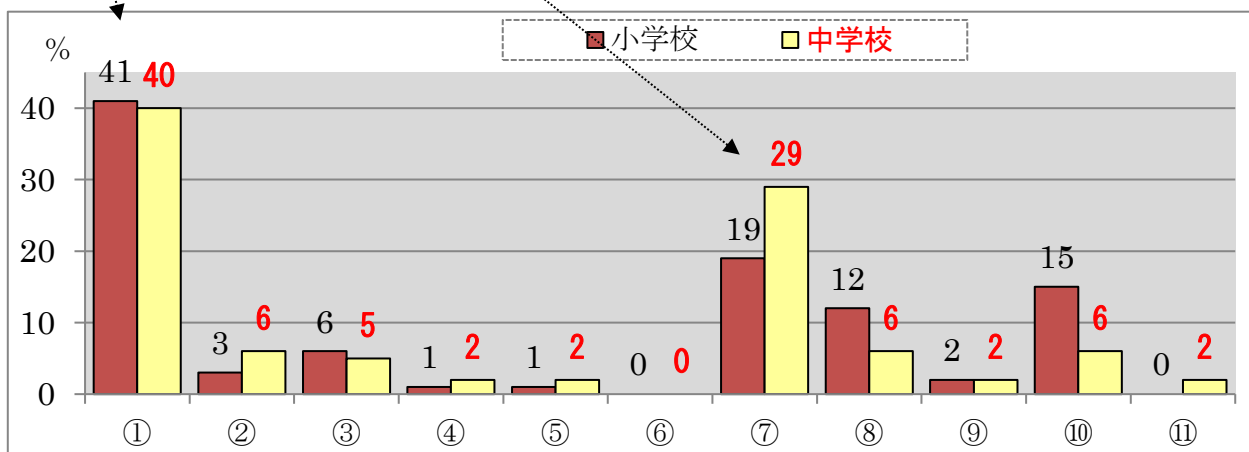


考察 ・全体としては、「入学させたい」肯定的回答は53%（昨年52%、一昨年53%）で、前年とほぼ同じである。一方、「入学させたくない」は11%（昨年8%、一昨年6%）で、少し増加した。

- ・小中学校別では、「入学させたい」は中学校が多く、「わからない」は小学校の方が多。他は小中共に同じ位である。これらは高校進学時期の年齢差からくるものと思われる。
- ・各学校別の小学校では、「入学させたい」肯定的回答50%以上が昨年度は2校であったが、本年度は1校（油木小学校71%）のみであった。
- ・中学校において、両校とも「入学させたい」回答率は50%以上であるが、小中学校共に「わからない」の回答が30%前後あり、今後「入学させたい」と思われるような教育実践や魅力づくりに向けて、学校現場と教育行政との両面から努力していく必要がある。

(2) 上記(1)の質問で「① 入学させたい」or「② どちらかと言えば入学させたい」と答えられた方で、その理由と思うものを下のの中から選んでください。（複数回答可）

- ① 通学に便利 ② 進路実績 ③ 教育内容面 ④ クラブ活動面 ⑤ 寮がある
- ⑥ 施設設備がよい ⑦ 町の支援（公営塾、海外研修等） ⑧ 学校や生徒の雰囲気
- ⑨ 家族等の薦め ⑩ 友人関係 ⑪ その他



⑪ その他（小学校）

⑪ その他（中学校）

- ・子ども（兄弟）が入学しているため
- ・町から高校がなくならないため
- ・子どもが入学を希望しているため

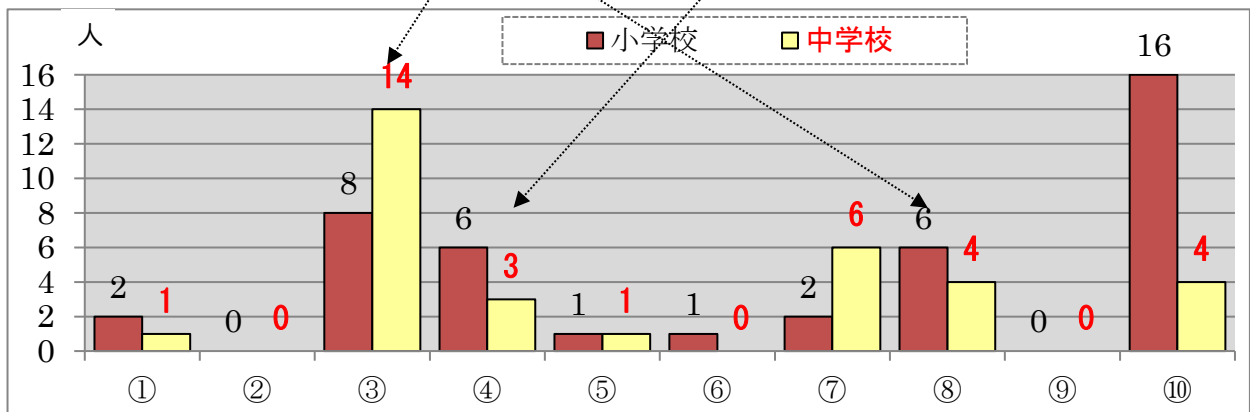
考察 ・小学校と中学校を比較した時、ほとんど同じような傾向といえる。即ち、油木高校を選択する理由は、多いものとして、①「通学に便利」と⑦「町の支援」の二つが際立って多かった。

これらのことから、保護者に受け入れられている「町の支援」はできるだけ継続しながら、費用対効果が上がるように中身の充実を図っていかなければならない。また、「通学の便」もかなり重要度が高く、アンケートの回答の中で、「油木高校へ入学させたくない」理由（下の質問）として、バス便が少なくなったり、運賃が高いなど通学の便を不安視されている保護者が多かった。

これらのことから町としてできる支援策を今後においても検討しながら、油木高校の魅力アップにつなげていく必要がある。

(3) 上記 6(1) の質問で「④ 入学させたくない」と答えられた方は、子どもさんの高校進路選択をする上で、保護者として重要視したいことはどんなことですか。下の中から最も重要視したいものを2つ選び、該当番号に〇印をしてください。

- ① 通学の便 ② 伝統や校風 ③ 子ども本人の希望 ④ 学習環境面 ⑤ 教育内容面
⑥ 施設設備面 ⑦ クラブ活動面 ⑧ 進路実績 ⑨ 経費面 ⑩ その他



⑩ その他（小学校）

・町内のバスは高すぎるため ・他校の寮へ入れた方が安い（食事つき） ・人数の少ないところではなく多いところで様々な出会いをして欲しい ・小～中までずっと同じメンバーで高校へ通い、大学に出た時初めて町外の人と触れ合うより、早く色々な中学校出身の人と触れ合う経験もさせたいと思うことがある（もう少し厳しい環境） ・医療関係か調理師関係の仕事をしたいが専門の科がないから ・今後も連携型中高一貫教育の取組に大変期待しています

⑩ その他（中学校）

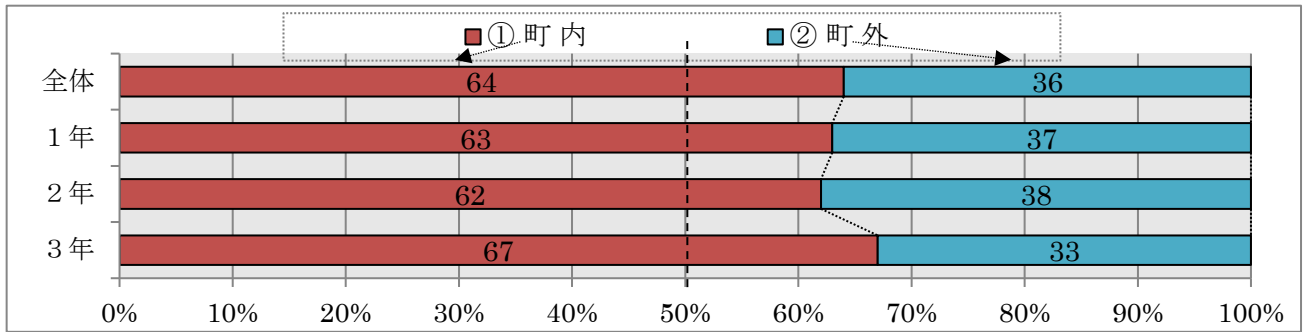
・良い先生がない ・他校に行くようにしている ・バスの便が少なく部活動も送り迎えは厳しい
・製菓衛生師や調理師など卒業までに資格が取ればよいと思う

考察 ・「油木高校へ入学させたくない」と答えられた方が高校進路選択をする上で、特に重要視したいものとして多いのは、小学校保護者では⑩「その他」であった。ついて③「子ども本人の希望」、④「学習環境面」、⑧「進路実績」となっている。

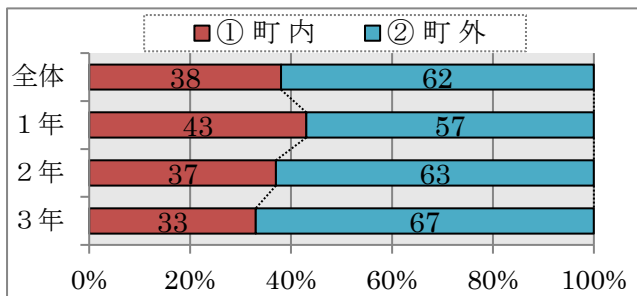
一方で、中学校保護者で最も多いのは ③「子ども本人の希望」。ついて⑦「クラブ活動面」、その他はどの項目も少数である。これらのことから、保護者の多くが「子ども本人の希望」を優先される傾向にあり、児童・生徒への油木高校の理解や関心を深めていく取組みが重要と思われる。

● 高校生

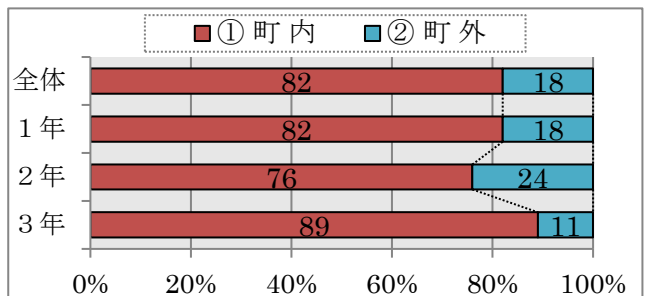
問 あなたの出身中学校は、どちらですか。 < 全体：学年別 >



< 学科別：産業ビジネス科 >



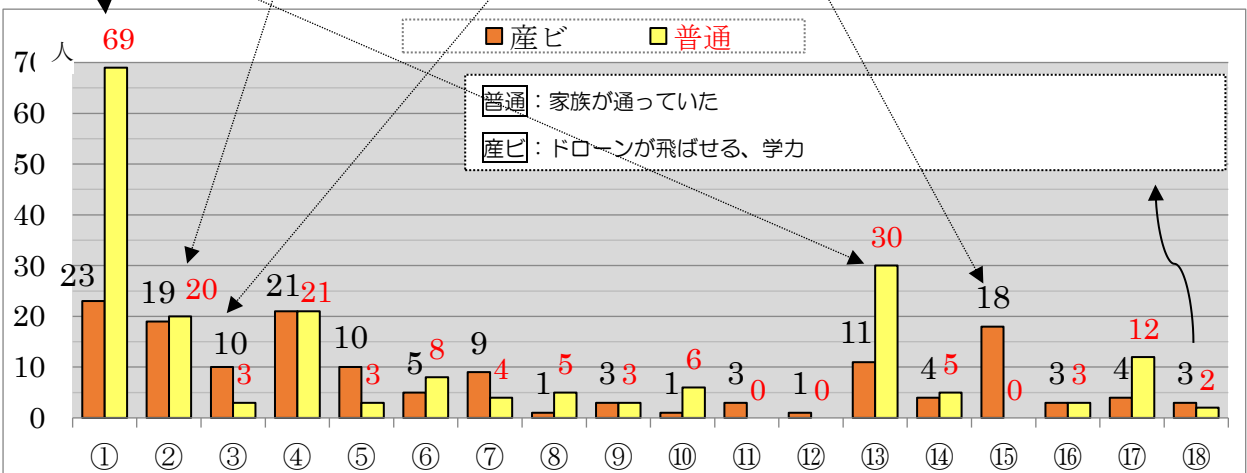
< 学科別：普通科 >



考察 ・ 全体的には、6.4対3.6で町内生徒が多いが、学科別でみると、産ビ科の町外生徒が62%と断然多い。しかし、中高一貫教育校になる前（H26年度以前）は、普通科への町外入学生徒はほとんどいなかったが、年によって数の増減はあるものの、本年度は1年生5人、2年生8人、3年生3人が通学している。

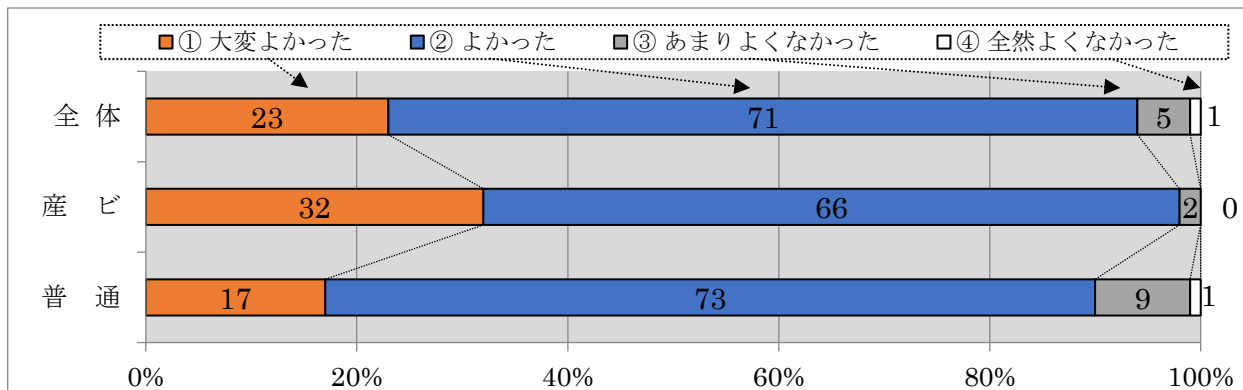
問 あなたが油木高校を進路選択した理由は何ですか。下の①～⑱から該当するものを全て選んでください。（複数回答可）

- ① 自宅から近い
- ② 親・家族の薦め
- ③ 先生の薦め
- ④ 自分の希望
- ⑤ 教育内容面
- ⑥ 部活動面
- ⑦ 寮がある
- ⑧ はやぶさ塾がある
- ⑨ 放課後神ゼミがある
- ⑩ 海外研修がある
- ⑪ 進路実績
- ⑫ 評判
- ⑬ 友人関係
- ⑭ 経費が安い
- ⑮ 学科への興味
- ⑯ 通学費の補助
- ⑰ 兄弟が通学している
- ⑱ その他（ ）



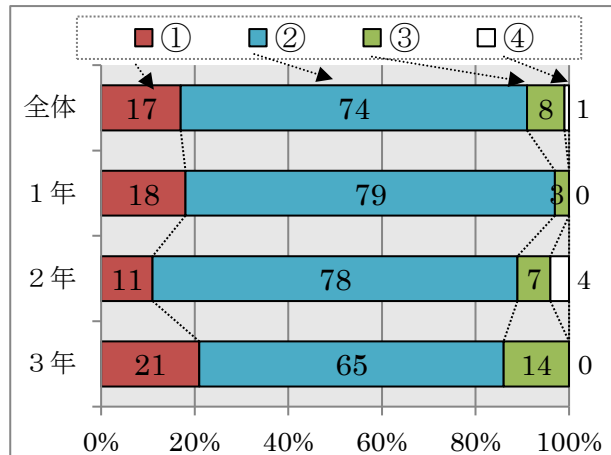
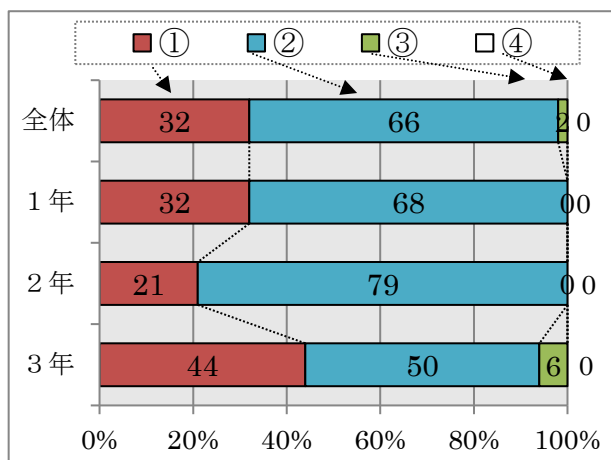
考察 ・ 全体的には、①「自宅から近い」や⑬「友人関係」、そして④「自分の希望」、②「親・家族の薦め」が多い。・ 学科ごとで特徴的なのは、普通科では①「自宅から近い」、⑬「友人関係」が産ビ科よりもかなり多く、産ビ科では⑮「学科への興味」③「先生の薦め」、教育内容面が普通科と比して多いのが特徴である。

問 あなたは油木高校へ進学して、どうでしたか。



< 産業ビジネス科 >

< 普通科 >



考察 ・全体では、例年と同様に多くの生徒（94%：昨年90%）が「よかった」と肯定的回答をしている。

・学科ごとでは、「大変よかった」とする者が、産ビ科全体で32%（昨年28%）、普通科は17%（昨年21%）であった。反対に「よくなかった」とする否定的回答をしている生徒は、産ビ科2%（昨年10%）、普通科9%（昨年9%）であった。その中で、「全然よくなかった」とする生徒は、普通科に1%（1人）であった。

・学年、学科ごとでは、産ビ科の1・2年生が肯定的回答「よかった」が100%であった。昨年度との経年比較でみると、産ビ科3年の肯定的回答は（昨年89%→94%）、同じく2年生は（昨年94%→100%）、一方、普通科3年生は（昨年90%→86%）、2年生は（81%→89%）という回答率であった。